

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)(生命理工学先端研究特論)

(生命理工医療科学先端研究特論)(医歯理工学先端研究特論)

Zoomによるオンライン講義

(参加希望者は11/26までに下記に連絡をお願いいたします)

記

1. 講師 北海道医療大学 歯学部 臨床教育管理運営分野

教授 長澤 敏行 先生

2. 演題 超高齢社会における糖尿病の合併症と歯周治療

3. 日時 令和2年11月27日(金) 17時00分～19時00分

4. 講義要旨

歯周病と糖尿病は相互に関連しており、糖尿病患者では歯周炎は重度になること、また歯周基本治療によって2型糖尿病患者の血糖コントロールが改善されることが報告されている。糖尿病の合併症のうち細小血管障害(腎症、網膜症、神経障害)は厳格な血糖コントロールによって抑制されるものの、脳梗塞や心筋梗塞などの大血管障害を防ぐには不十分であることがUKPDSやACCORD研究で示唆されている。歯周炎が血糖コントロールを悪化させる理由として、慢性炎症がインスリン抵抗性を引き起こすことが提唱されてきたが、歯周治療の効果は慢性炎症の改善だけであるのかは明らかになっていない。長高齢社会において年齢に応じた血糖コントロールが提唱されていることから、糖尿病患者の歯周治療においても同様の対策が必要であると思われる。今回は長高齢社会における糖尿病患者の合併症と歯周治療について考察を加える。

連絡先: 竹内康雄(歯周病学分野 内線 5488 E-mail: takeuchi.peri@tmd.ac.jp)